

福島南ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

国際ロータリー会長 BARRY RASSIN (バリー・ラシン)

国際ロータリー第2530地区ガバナー 平井 義郎

福島南ロータリークラブ 会長 吉田 和義 幹事 一條 浩孝
目標「例会を楽しもう」

会員/72名 出席/42名 出席率/58.33%

メークアップ/30名 修正/72名 修正後率/100%

会長挨拶 吉田 和義 会長



本日のお客様は二本松ロータリークラブ会長 三津間 誠吉 様、三津間会長は北タイ アカ族子供就学支援事業に尽力されており里親として継続的支援を実行されております。次に福島成蹊高等学校インターアクトクラブ顧問 鈴木 智美 先生、福島成蹊高等学校インターアクトクラブ部長 佐藤 美里 君、副部長 一條 花乃 さん。福島成蹊高等学校の皆様には全国インターアクト研究会の参加報告をこの後お願いしております。

今日5月29日は何の日かご存じでしょうか？ 斎藤 ミヨ 会員の誕生日です。1938年(昭和13年)の生まれで、その前の年1937年5月29日に誕生したのが 加藤 和枝 さん、芸名 美空ひばり、歌謡界の女王です。1989年(平成元年)6月24日心不全のためお亡くなりになりました。今年の6月24日は友引となっており、斎藤ミヨ会員におかれましてはくれぐれもお体ご自愛くださいようお願い申し上げます。

さて本日はクラブ協議会となっております。各委員さんには活動報告よろしくお願いたします。同時に次年度への引継書提出は今日が締め切りになっており、引継書を確認された次年度委員長は事務局に引継書返却をお願いいたします。事務局佐藤さんにお願いたします。引継書提出の委員会名を会長まで報告願います。

最後に6月のロータリーレートは110円です。財団寄付の送金は6月中旬に予定しておりますのでよろしくお願いたします。

来訪者ご挨拶 二本松ロータリークラブ 会長 三津間 誠吉 様



二本松ロータリークラブは南RCさんから大橋PGはじめ鈴木 洋子さん、菅野 良二さん、松崎 弘昭 さんにメークアップをいただいております。大橋PG自身は2度ほど二本松を御訪問下さいましていろいろとご教示を賜った次第でございます。

吉田会長とは非常に気が合う仲間でございます、会長幹事会でもお互い自由闊達にお話をさせていただいております。

本日はいろいろ御礼も含めまして会長の時に一度皆様にご挨拶を申し上げたくて本日メークアップをした次第でございます。本日パナーを持ってきておりますので、二本松RCのパナーを南RCさんに奉呈したいと思っております。よろしくお願いたします。



第7回全国インターアクト研究会参加報告 福島成蹊高校 IAC部



1. 日時：平成31年4月28日(日) 11:00~18:30
2. 場所：福岡国際会議場
3. 参加者：2530地区 インターアクト委員長：大木 和彦様
福島成蹊高等学校 IAC部 部長：佐藤 美聖、副部長：一條 花乃、顧問：鈴木 智美
4. 大会について：今回は全国インターアクト研究会、全国ロータリーアクト研究会、2700地区インターアクト年次大会が同時開催だったので、オープニングセレモニーの後、顧問、インターアクター、インターアクト委員長に分かれ文科会が行われ、最後にそれぞれの会議報告が行われました。

5. 全国顧問会議報告

①全国インターアクト代表校6校の事例紹介：部員が6名から75名の学校まで様々な学校の取り組みについて発表があり、とても参考になりました。福島成蹊高等学校は部員が67名になり全員が主体的に奉仕活動に参加出来るようにしたいと思っていた私にとって、特に中部大学春日丘高等学校の事例は参考になりました。春日丘高等学校は春日井 RC、名古屋空港 RC、名古屋城北 RC、の3つの提唱 RCがあり、部員が63名おり、年間250回奉仕活動をしている学校です。

部員は ①部長、副部長、幹事 ②各施設委員リーダー、各イベントリーダー ③それ以外の部員

という組織になっていて、②の各リーダーが奉仕活動先の施設やイベント主催者と連絡をして日程調整、内容、参加人数を決め、それを部長に報告し、副部長、幹事と協力して各リーダーが参加者の希望を募るのを調整するという組織でした。各活動に出掛けたいリーダーは活動報告を行い全体で共有しているので、部員はいろんな社会奉仕に興味を持ち、自主的に年間250回の活動に参加出来るのだと思います。是非参考にしたいと思います。

②全国インターアクト顧問情報共有会：全国から参加した北海道から長崎までの顧問が参加しロータリアンとの関わりについて報告しました。いくつか印象に残った事例挙げてみます。

- ・北海道ではロータリーの例会がモーニング例会で7時集合、8時解散なので生徒が参加する事が出来ない。
- ・他地区のインターアクターとの交流を企画して顧問同士の調整がスムーズに出来たがロータリー同士の調整が上手く行かず1度やって懲りてしまった。

・ロータリアンと生徒の交流する機会がほとんどない。(多くの学校) などありますが、本校提唱福島南ロータリークラブの皆さんは月1回の本校の例会に必ず参加してお話して下さったり、猪苗代水草清掃活動、花野山交流会、大声杯など募金活動などの奉仕活動に生徒を参加させて下さって交流して頂き、全国の中でも本校は本当に恵まれた環境でロータリアンと交流できるのだと改めて感じる事ができました。

6.感想：働き方改革が4月から実施され部の年間計画、活動時間を報告しなければならなくなり、顧問だけでは67名部員が主体的に奉仕活動する場を調整するのが大変だと思っていたので、今回の研究会で知った中部春日丘高等学校のような組織作りを早速してみたいと思いました。一緒に参加した部長、副部長もとても刺激を受けて今回出会う全国のインターアクターがグループラインを作り、11月のインターアクト週間に向けて各地域で奉仕活動をして報告しようということが決まったので、早速「jrclac_seikei」というインスタグラムを作り、各奉仕活動に参加した部員が活動をそこにアップして、活動報告を部員だけでなく、発信していく事を部活のラインで連絡していました。全国研究会に参加させて頂き、とても参考になるアイデア、刺激を頂きこれまで以上にいろんな取り組みをして行きたいという気持ちに部員はもちろん、私もなりました。今回学んだ事を2530地区に共有出来るように活動して行きたいと思っております。

最後に、いつも恵まれた活動環境を提供して下さる福島南ロータリークラブの皆様、全国インターアクト研究会に参加するのが初めてで不安だった私達をずっとお世話して下さいました大木委員長に本当に感謝しております。



佐藤 美聖さん 感想文

私は4月27日から29日に行われた全国インターアクト研究会に参加しました。全国インターアクト研究会では第1分科会と第2分科会に分かれ、第1分科会では国際理解、第2分科会では社会奉仕についてディスカッションしました。北は青森、南は宮崎までの高校生が参加しました。その高校生のほとんどが東日本大地震の復興募金を行なっていると話していました。今でも東北、福島のことを思い、募金をしてくれている人があるということに感動しました。

第1分科会の国際理解では募金や物資などの支援だけでなく、募金のお金や支援物資がどのように利用されているのかを確認することが必要だという話が出ました。

国と国の交流なので、支援している側、支援されている側、その双方は相手の顔、生活がどのようなものかわかりません。なので、支援が一方的なものにならないように、現地を直接見て、実感することが必要だということに気がきました。

第2分科会の社会奉仕では、現在行っている活動の意義を再確認し、一つのクラブだけでなく、多くのクラブと協力し、地域に寄り添った活動をする必要があるという結論になりました。場所が変われば課題や問題も異なるので、各地域に相談室やそれに似たものを設け、地域特有の課題について考え実行し、その一つ一つの活動が地元愛に繋がるのではないかと話し合いました。全国に行かないと会うことができない高校生や大人の方の話を聞き、新しいことに挑戦する勇気をもらうことが出来ました。

初めは緊張と不安で上手く伝えられるか心配でした。しかし、発言している人の目を見て、所々うなづきながら話を聞いてくれたので、落ち着いて話すことができました。福岡での活動を通して学び得たことを共有し、実行することが大切だと思いました。私にとっての2泊3日は経験をさせてくれる貴重なものでした。この貴重な経験をさせて下さったロータリーの皆さん、引率して下さいました智美先生、本当にありがとうございました。今後の活動は今まで以上に一所懸命に取り組んでいきたいと思っております。本当にありがとうございました。



一條 花乃さん感想文

先日は全国インターアクト研究大会に参加する機会をいただいたこと、本当に感謝しております。私は全国インターアクト研究大会に参加させていただき、全国から集まったIAC部員のみならず本当に個性豊かで、様々な方言が飛び交っていました。私たちは、国際理解と社会奉仕について何かできることはないか、というテーマで話し合いました。国際理解では、身近にいる留学生と一緒に1つのテーマで話し合いをしていこうという結論になりました。京都の高校では、外国の方と一緒に「幸せとは何か」をテーマに話し合いをしたそうです。そのような場があれば、外から見た自分の国のイメージや考え方をお互いに教え合うことができ、自分たちでは見つけられない問題なども見えてくると思うので、私たちも参考にしたいと思えました。次に社会奉仕をテーマで話し合うと、インターアクト部員はひとつひとつの活動の意義を知っていますが、学校の全員がその意義を知っているかと考えるとそうでないことがわかりました。全国的にそのような意識がないことから、まずは各学校、各地域で今行っている奉仕活動、成蹊高校なら多くの生徒が携って作る「ふれあいコンサート」や、貧困問題の改善を目的とする「子供キッチン」などの活動を「世界インターアクト週間」に力を入れて行っていこうという結論になりました。またそれらの活動を通して改善されたことや新たな問題を、全国のインターアクト部員と報告しようという話にもなりました。福岡を出発する前に吉田さんに、自分たちで新しい活動をするのもいいよね、と提案をしていただきました。

この機会を通して、何か新しい活動をするヒントを得たいと思えました。国境を越えた活動を活発に行っている学校もあれば、子供食堂のように私たちに似た活動をしている学校もありました。子供食堂では、子供たちがご飯を食べるだけでなく、遊んだり宿題をするスペースを設けていると聞いて、私たちもそのように+αを取り入れていきたいと思えました。福岡での3日間はあっという間でしたが、とても中身の濃い時間を過ごすことができました。成蹊高校の活動も自分なりに発信することができ、私自身もひとつひとつ成長できたと思っております。インターアクトでの活動は残りわずかですが、ひとつひとつの活動を、大切に取り組んでいこうと思っております。このような素晴らしい機会をくださったロータリーのみならず、引率して下さいました智美先生、本当にありがとうございました。

クラブ協議会(活動報告)

奉仕プロジェクト管理委員会 松崎 弘昭 委員長



奉仕プロジェクト管理委員会は、6つの委員会を所掌していますが、我がクラブでは、各委員会が連携しつつ独立して活発に活動していることから、各委員会への差し出がましいような働きかけは少なく、委員会が実施する活動への積極的な参加が主な管理委員会の役割でありました。

今後については、組織のマネリ化を防ぐ意味でも、これまで通りのあり方で良いのかを戦略計画委員会とともに議論していくことも必要な気がしました。

社会奉仕委員会 菊池 和宏 委員長



「最も奉仕する者、最も多く報われる」の言葉を軸として今年度7名で、活動して参りました。

今年度の活動は
8月29日(水) 福島成蹊高校奨学金の授与式(第3回 IAC 例会時、於成蹊高校)、9月2日(日)奉仕プロジェクトグループ合同セミナー参加(磐梯熱海ホテル華の湯)、10月21日(日)猪苗代湖水草清掃奉仕作業(福島南RC12名、成蹊高校25名参加)、10月28日(日)当クラブ主催第21回「大声杯」リトルリーグ野球大会(成蹊4名)、11月9日(金)防火パレード、雨で中止となり、11月13日、参加予定だった飯坂温泉幼稚園に会長、幹事と菊池の3名で防火パレード記念品贈呈、1月25日(金)杉妻小学校図書贈呈(13名)、2月27日(水)杉妻小学校児童読書感想文発表、4月7日(日)花野山児童支援事業(愛育園25名、成蹊 IAC6名福島南RC19名計50名)、6月22日(土)薬物乱用キャンペーンへの参加

以上、1年間楽しく奉仕活動を行うことができました。全ての事業を通して感じた事は「参加する事に意義がある」という事でした。

国際奉仕委員会 渡辺 雅浩 委員長



今年度国際奉仕委員会の役割は世界社会奉仕、他国の人を助けること、そして交流を図ることにあります。という認識のもとに、7名で活動致しました。

1. 海外のロータリアンとの国際親善(交流をはかる): 米山記念奨学生の例会でのスピーチこちらは会長・幹事、他のRCさんのお力を借りて米山奨学生を招き、7/25の米山スピーチを皮切りに、ベトナム、台湾など計4回のスピーチをいただきました。

2. モンゴル国際親善旅行: 平成30年9月26日(水)~30日(日)行いました。米山学友のオディさんに同行いただき、計9名の参加で親善旅行を行い、モンゴル・ウランバートルのクレーRCにメークアップして、モンゴルのロータリアンと交流を深めました

3. 来年度の平成31年6月1日~5日にハンブルグ(ドイツ)で行われる国際大会への参加者募集について当初計画を立てましたが、開催地が遠方であることを考慮し、途中から当クラブとしてツアーを組むことを断念し、個人手配に変更致しました。

4. 海外災害への支援: 何かあれば積極的に対応を考えておりますが、関連して支援するようなことがなく幸い致しました。**ポリオ撲滅運動への理解と協力**: ロータリー財団との共同事業であることから、財団の松崎委員長からアイデアやご指導をいただき、10月24日(水)のポリオオディ当日に、例会場をポリオ撲滅ポスター一色にして活動し、クリアファイルの販売、その益金を募金にする内容で呼びかけを行った結果、総額30万円以上の募金を集めることが出来ました。

職業奉仕委員会 安斎 紀之 委員長



職業奉仕の理念は「最も奉仕する者、最も多く報われる」というモットーで表現されています。職業奉仕の受益者はロータリアン自身であります。高い職業倫理に基づく事業経営を標榜し、職業奉仕を實踐してまいりました。

1. 例会にて四つのテストの唱和: 委員会メンバー7名が輪番表に基づき、年間40回の例会において唱和を担当致しました。
2. ゲストスピーチによる講話: 次のゲストスピーチを9回行いました。スピーカーの人選は広報・雑誌委員会や役員等の協力が依存、職業奉仕委員会による人選は、第8回の横山俊邦氏のみでありました。

	開催日	スピーカー	演題
1	H30. 7/11	快フィットネス研究所 所長 吉井雅彦様	へやさしい元気を世の中に~ 愉快! 軽快! ああ爽快!
2	8/8	(有)金水晶酒造店 代表取締役社長 菅藤英幸様	日本酒は故郷の誇り
3	10/3	米山記念奨学生(ベトナム) ヴォティテュ・ハー様	—
4	10/10	米山記念奨学生(中国) 蔡騰龍(サイトウキ)様	—
5	11/14	福島中央RC ローターアクト大橋由希様	ローターアクトで感じたこと・学んだこと
6	H31. 1/23	渡辺ダニス・カルチャーターク 代表 石山 波恵様	「新春初笑い!」笑いと健康
7	2/20	聖光学院高等学校 野球部 監督 斎藤智也様	—
8	4/17	安楽院東堂 普門院住職 横山俊邦様	信達三十三観音堂様について
9	6/12	福島市立福島養護学校 進路指導主事 安藤真一様	—

3. 職場訪問(移動例会): 9月5日 たまのや「こころ斎苑黒岩」11月28日 風の谷 以上2回開催いたしました。
4. 勉強会の開催: 1月のロータリークラブ職業奉仕月間にあわせ、職業奉仕についての勉強会を会員17名の参加を得て開催しました。

青少年奉仕委員会 海老根 潤 委員長



今年度は、青少年活動のさらなる拡大・拡充を目的に計画書に基づき取り組みを行って参りました。

福島成蹊高校 IAC への取り組み: 年度内8回開催されるインターアクトクラブ例会では、活気ある充実した内容となる様に心掛けました。例えば、ロータリアンスピーチだけでなく、吉田会長に尽力いただき、**米山学友会**や**ローターアクトクラブ**からもスピーカーを招聘し、普段あまり聴く機会がない国外の話題などスピーチしていただきました。活発に手を挙げ質問する IAC 生の様子が印象的でした。ロータリークラブ会員の皆様にも毎回 10 名前後の出席をいただきました。ありがとうございました。

喜多方桐蔭高校 IAC との交流会: 地区補助金をいただき、8月21日に福島より41名で喜多方市へ訪問し総勢60名で**喜多方桐蔭高校 IAC** との共同奉仕活動と交流会を実施いたしました。この交流会だけでなく、**桜の聖母学院高等学校 IAC** との合同例会も実施する事が出来ました。IAC 活動が活性化されていることを実感しております。次年度もこの勢いを継続していただければと思います。

福島中央 RAC の福島中央 RC との共同提唱推進: 担当を佐久間功 青少年奉仕委員会副委員長とし、関係団体と協議を進めております。福島中央 RC・福島中央 RAC・福島南 RC での第1回共同提唱三者協議会が4/24によりよく開催されましたが、今後も慎重に協議を重ねて進めて行く必要があります。大変申し訳ございませんが、次年度へ協議継続をお願いいたします。

青少年奉仕活動は、各委員の方々は無効の奉仕。福島南ロータリークラブの皆様のご理解、ご協力があって活動することが出来ると思っております。

ロータリー財団委員会 松崎 弘昭 委員長



今年度のロータリー財団委員会は、寄付の目標を年次基金150ドル/人、ポリオプラス基金50ドル/人、恒久基金ベネファクター2名以上としてきました。皆様のご協力によりあと少しというところになってきました。また、昨年の10月24日の世界ポリオデーには、それに特化した例会を企画しクリアファイルの作成販売をさせていただきました。

ロータリー財団という何だか難しくよく分からないとよく言われますが、今お話しした年次基金、ポリオプラス、恒久基金、ベネファクターでも分かりづらいにシェアシステムとかWF,DDFと言ったら拒否反応が出てしまうかも知れません。

ロータリー財団には、その使命を果たすための「**世界でよいことをしよう**」という標語があります。この標語がロータリー財団の全てを表していると考えればロータリー財団は決して難しいものではないかも知れません。そして、ロータリー財団の使命についても、簡単に言えば、地域社会や世界で良いことをして、沢山の人の仲良く、平和な社会を目指していきたいでしょう。ということなのです。

あとは、良いことをするための資金集めの方法や集めたお金を使うためのプログラムやシステムがあるだけです。

会員の方々にとってロータリー財団は寄付集めというイメージが強くて本来の目的が理解されていない傾向があります。地区や各クラブに於いても年間寄付目標を立てて協力をお願いしているのですが、その目標達成に主眼を置きすぎると、目標そのものがロータリー財団の目的や使命にすり替わって、場合によっては会員の方々に不快感を与えることになるので、寄付集めには工夫が必要だと感じました。

最後に、これだけは伝えたいのですが、それは、多くの慈善団体が、寄付を頂いた中から運営経費を差し引いて活動を行っているが、ロータリー財団では、お預かりした寄付金の原資は、ロータリー財団の人員費や運営経費などには一切使っていないということです。それが、ロータリー財団が世界で評価されている所以なのです。

戦略計画委員会 横山 りつ子 委員長



1. クラブのサポートと強化: ・クラブ会員数は年初73名、前期1名の自然退会及び2名増の74名であったが退会予定者を含め4名減の70名。 ・クラブ創立50周年記念事業計画立案の為実行委員会を組成し運営に当たっている。12月5日(水)クラブフォーラムを創立50周年実行委員会の協力で開催、全会員へ記念事業及び記念講演企画案のアンケート調査を実施した。これを踏まえて企画することとした。

2. 人道的奉仕の重点化と増加: ポリオ撲滅最終年度に向け10月24日世界ポリオデーに当クラブ独自のクリアファイルを作成し会員に購入を募り寄付計画立案し¥300,000の寄付を達成した。

3. 公共イメージと認知度の向上: クラブ独自の活動について、クラブ・広報委員会の協力のもと「世界を変える行動人」としてクラブの奉仕活動を前期7件、後期4件メディアにて紹介した。

4. 退会会員への年会費請求について: 4月17日(水)吉田会長、鈴木エレクト、横山委員長、佐久間副委員長の出席のもと題件につき協議した。協議の結果、その都度理事会にて審議することで次回理事会にて諮ることとした。

— 今後のプログラム —

- ・6月19日(水) 移動例会: 山水荘 新旧委員会歓迎迎会
- ・6月26日(水) 最終例会

— 地区情報・第一分区分区・関連情報 —

- ・6月12日(水) 16:45~ IAC例会
次年度第1回理事会・新旧合同理事会
- ・6月16日(日) 福島南RCゴルフコンペ(民報コース)
- ・6月22日(土) 麻薬撲滅運動(街なか広場)

米山記念奨学会委員会 鈴木 洋子 委員長



米山記念奨学会委員会は、米山梅吉翁の意思を継承し、日本に興味があり学びたい各国からの若者たちにロータリアンの好意の奨学金を支援し、日本と自国の懸け橋になっていただき、広くは世界平和のための活動を担う若者を支援すること、研修会に参加し学びました。そのうえ、直接奨学生と触れ合う機会を頂き、若者たちのあふれる行動力に感動し「この活動から世の中が変わればよい」と、委員会活動を委員全員の目標のもと、今年度の目標を達成することができました。会員一人ひとりの心のこもった浄財に心から感謝申し上げます。

今年度の寄付金目標額を、185万円と設定し「前年度より例会が5回少ない分頑張らなければ」など、不安はありましたが委員会の会合を持ち連携を強めた結果、**基金額は目標を上回る20.0万円以上となりました。**皆様のご厚意に感謝致します。

奨学生が不在の中で、米山記念奨学会委員会をアピールしようとして、奨学生によるスピーチをお願いしました。会長・幹事のご協力のもと10月米山月間に合わせて実現できました。**10月3日ヴォティテュさん、10月10日祭藤輝さん、**奨学生達の生の声はロータリアンの皆様の心に響いたようす。また、例会ごとに「ハイライトよねやま」や、「Rotary Yoneyama 豆辞典」を作成し奨学生や学友会の活動を紹介させて頂きました。

クラブ会長・幹事・国際奉仕委員会と連携し国際研修旅行をかねて、福島地区在住の元奨学生、オディさんに母国の**モンゴルへ会員と家族で研修旅行を実施しました。**自然の中で生活するモンゴルの人たちの交流は感動と忘れかけていた純粋さをよみがえらせてくれました。新モンゴル学園見学、フレールRCの夜間例会に参加、モンゴル学友会の夜間例会に参加など、モンゴルを知り交流を深める良い機会となりました。

米山記念奨学会委員会の研修会に参加し**米山梅吉翁の生涯を学びました。**

寄付金を頂くためには、まず委員会の委員が研修会に参加し学び、奨学生と目標を同じくし自らが楽しむことから始めると感じました。

米山記念奨学会委員会の研修会に参加し**米山梅吉翁の生涯を学びました。**

— 6月12日(水)の例会プログラム —

<ul style="list-style-type: none"> 1. 開会点鐘 2. 国歌斉唱 3. ロータリーソング 4. 四つのテスト唱和 5. 来訪者紹介と会長挨拶 6. ロータリーの友読みどころ 7. 誕生祝 	<ul style="list-style-type: none"> 8. スマイリングBOX報告 9. 会員スピーチ 菅野和江委員長 10. ゲストスピーチ 福島養護学校進路指導主事 安藤 真一 様 11. 謝礼の贈呈 12. 各委員会報告 13. 閉会点鐘
--	--

事務局: 〒960-8151 福島県福島市太平寺字過吹 6-2 3rd FLOOR 1F2号室 TEL:024-546-3793 FAX:024-545-7878
HP: http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary MAIL: f-southrotary2530@inaka.ne.jp
例会会場: クラークアクト(旧P&Gが福島) 〒960-8101 福島県福島市上町 4-30 TEL:024-523-3811(代) FAX:024-523-0375